

文部科学 大臣表彰

(優良PTA)

高志館高等学校教育振興会

・役員会の基本方針の下、保護者・教師が協力できる組織・活動体制の構築

・多くの保護者の関わり・参加に向け、固定化させないクラス役員を選出

・学校行事と連携したさまざまな教育支援活動の実施

・専門教育の内容公開と活動の雰囲気づくりに向けた公開講座の実施

・保護者・教師が協力した生活指導(あいさつ運動)の実施

・保護者・教師が協力した広報活動(年三回の広報誌発行)の実施



「高志ちゃんこ」の振る舞い

この表彰はその趣旨に、「PTAの本来の目的・性格に照らし、優秀な実績を上げていくPTAを表彰し、PTAの健全な育成、発展に資することを目的とする」とうたってあり、組織運営及び活動について設けてある表彰基準をクリアすることが求められている。

本県では近年、三養基高校、金立特別支援学校、嬉野高校が受賞している。



香楠中学校・鳥栖高等学校PTA

前会長 古財 政成氏

佐高P連の副会長、理事として、県のPTA活動に尽力される一方で、副会長として四年間、会長として一年間の間、PTAとして年三回の新聞発行、登校指導、豚汁会、キャリアアップラングセミナーの企画・実施など、本校のPTA活動に尽力していただいた。



唐津東高等学校・唐津東中学校振興会

前会長 平松 宏氏

平成二十年度から二年間振興会監査として、さらに平成二十三年度は副会長、平成二十四年度からは振興会会長としてこれまでご尽力いただき、本会発展に大きく貢献していただいた。



杵島商業高等学校後援会

前会長 西山 清則氏

平成十三年より十三年間の長きにわたり、杵島商業高校後援会長として、学校の発展に尽力した。その間、平成十四年の五十周年、平成二十四年の六十周年の記念行事や、その他諸行事に率先して取り組み、多大な貢献を行った。



東明館中学校・高等学校後援会

前会長 稲葉 武彦氏

長年にわたって後援会の要職を歴任し、後援会活動の充実、発展に力を注いできた。また、学校の教育活動に対する多大な理解と支援により、後援会と学校が一体となって生徒の育成に邁進することができた。



佐賀県高等学校PTA連合会

前事務局長 香月 英二氏

平成十九年十月より平成二十六年三月までの六年六か月間にわたり、県連事務局長として、また小出会長の補佐役として活躍しながら、九高P連及び県高P連の活動に貢献した。特に、平成二十二年に担当した九高P連の「がばい響け佐賀大会」では、事前の準備段階から大会当日までの慌ただしい業務を的確にこなし、九州大会を成功裏に終了させた。

受賞者の横顔

盲学校PTA

本校のPTAは小規模ながら、毎年外部講師による講演会や近県を含め障がい者自立支援施設等の研修を行っている。保護者と学校の連携を基に、視覚障がい等への知見を深め、共生社会の実現に資する自己啓発を重ねている単体PTAとして推薦に値すると考えられる。



あいさつ運動

ろう学校PTA

毎月第一月曜日に、登校する児童・生徒の様子を見守り挨拶を交わす「あいさつ運動」に取り組んでいる。また文化祭では、PTAバザーに取り組んでいる。

会員研修では、就労を見据えた工場見学や他県のろう学校視察等に取り組んできた。



点字ブロック啓発活動



うどんの振るまい



あいさつ運動

九高P連表彰

また、県高P連事務局長と併せて県高等学校長協会事務局長として、佐賀県教育の充実・発展に向けて多大な貢献を行った。長い間、大変お疲れさまでした。

功労者

西山 清則氏

感謝状

香月 英二氏

優秀単P

嬉野高校
う学校

優秀単P

敬徳高等学校
敬旨

役員等表彰

香月 英二氏

功労者

古財 政成氏
平松 宏氏

全高P連表彰

敬徳高等学校後援会

県内での六校会や杵西地区の活動、そして私立の龍谷総合学園グループでの活動への参加を通して、他校の取り組みに刺激され、会長を中心に自分たちで話し合い、活動していこうという気運が盛り上がり、あいさつ運動など、年間を通しての活動につながった。

嬉野高等学校PTA

PTAは三つの専門部(総務、母親、広報)を中心に活動を展開し、学校と一体となって地域に根ざした取り組みを展開している。特に、毎年十二月に行われる校内マラソン大会でどのどの振るまいは、母親部の全面的な協力を得て感動的な行事に定着した。

◎功労者表彰

香楠・鳥栖	古財 政成
佐賀北	菅 浩平
唐津東	平松 宏
伊万里農林	金子 和宏
佐賀農業	野口 俊彦
鳥栖工業	山田 毅
唐津工業	橋本 武司

◎佐賀県高P連表彰 (敬称略)

◎功労者表彰

鳥栖商業	豊増 靖彦
伊万里商業	池田 泰人
杵島商業	西山 清則
牛津	野中 謙次
嬉野	古賀 秀徳
ろう学校	城本 敏昭
龍谷園	熊谷 誠司
佐賀学園	木塚 貴博
東明館	稲葉 武彦

◎感謝状贈呈

佐賀西	岸川 正人
唐津東	平松 宏
香楠・鳥栖	古財 政成
有田工業	久保田雅敏
致遠館	糸山 美和
鳥栖東	深川 直人
佐賀東	久保 隆慶
高志館	内山 隆文
致遠館	丹宗 成一
唐津東	白水 敏光
有田工業	牟田 久俊
鳥栖工業	山田 毅
厳農木	岡田 真理
佐賀農業	野口 俊彦
事務局	香月 英二

努力は君を裏切らない

鳥栖工業高等学校 駅伝部・レスリング部

本校の駅伝部とレスリング部を紹介いたします。まず駅伝部ですが全国高校駅伝三十八回出場(出場回数全国六位)入賞十五回(入賞回数全国八位)を誇る伝統校です。今年度は三年生十二名



二年生十名、一年生十一名で活動しています。先日行われた県高校総体も総合優勝し、三種目のべ六名が全国高校総体出場を決めてくれました。現在五千m、十四分台を十四名抱え、上位七名の平均タイムは全国三位を記録しています(平成二十六年六月未現在)。全国高校駅伝においては三年連続九位と僅差で八位入賞を逃しています(平成四年までは十位までが入賞)ので今年こそ壁を破りたいという強い思いで頑張っています。



続いてレスリング部です。レスリング部は全国高校総体に十五回出場しています。現メンバーは、九州新人大会優勝(佐賀県初)、全国選抜大会三位(佐賀県初)、九州大会準優勝とい

イベントスユース(U16)との交流を行いました

佐賀商業高等学校

サガン鳥栖ユースとの交流試合のため、来日し、六月十九日(木)から六月二十二日(日)まで佐賀に滞在していたイタリア、トリノに本拠地を置く名門サッカークラブ、ユベントスユース(U16)チームの選手、監督、スタッフなど総勢二十八名が、六月二十日に県庁での歓迎セレモニーの後、佐賀商業学校に来校し、

日本文化体験等で生徒と交流を行いました。県庁でのセレモニーから佐賀商業の生徒は参加し、花束の贈呈等を行いました。その後、一行は、佐賀商業高校へ移動、吹奏楽部が歓迎の演奏を行う中、多くの生徒が出迎えを行いました。まず茶道を体験、茶道部の生徒がお手前を披露し、所作を教えるなどの交流を行いました。

UD推進校として

白石高等学校

本校は今年度、「ユニバーサルデザイン(以下UD)推進校」に指定され、その最初の取り組みとして七月十四日(月)、佐賀県統括本部ユニバーサルデザイン推進グループ係長の江頭里美さんを講師に迎え、一年生を対象とした講話が行われた。講話では、「UDとは何か」や「バリアフリーとUDとの違い」についての説明や、建物や交通、まちなかや家の中

二学期以降は、今回の講話の内容を踏まえながら、普及するにはどうしたらいいか、学校の実情に応じて、創意工夫を凝らしたUD教育を目指して取り組んでいく。



【様々な取り組み】
1. 昨年の文化祭のバザー収益金を地元白石町のUD取り組みのために寄付。
2. 体育祭の時に高齢者用の席を準備する。
3. 「見やすいチョーク」「人に

シリーズ No.19

頑張ってるね!! 輝いてるね!!



あるUDについて具体例を挙げながらの説明があり、生徒たちは理解を深めた。



4. 「UD紙芝居」(三年生)を保育園と児童保育での実施に向けて現在企画中。

応募してみませんか!!

平成26年度

ポップPOPコンテスト

作品募集

募集期間:平成26年7月19日(土)~9月30日(火)

優秀賞として最高1万円の図書カードプレゼント

本の魅力を伝えよう

応募資格:県内在住及び県内に通学・通学している方

部門:「幼児・小学1~3年生の部」「小学4~6年生の部」「中学生の部」「高校生・一般の部」

対象資料:図書のみ(漫画・コミック不可)

POP規格:
用紙:所定の応募ハガキ(148mm×100mm)
※県内公共図書館・公民館図書室に設置しています。
色の数、画材:自由(リソコンによる作成も可)
向き:縦横自由

お問い合わせ / 佐賀県文化・スポーツ部まなび課
〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号
TEL.0952-25-7313 E-mail: manabi@pref.saga.lg.jp

佐賀県 POP コンテスト 検索



最後に、サッカー部の生徒とメッセージボールを交換し記念撮影を行いました。参加した生徒の感想は、「双方が楽しく交流できてよかった。」「世界の舞台を意識している選手と交流することによって、自分たちにもよい刺激となった。」「こうした機会が持ててよ

なお、佐賀商業高校は、こうした国際文化交流に参加する機会が多くあり、今後、アメリカ訪問や韓国からの交流団を迎える国際交流を控えています。こうした機会を通して、広い視野や国際的な感覚を身につけ、国際的に活躍できる商業人として社会に貢献できる人材に成長してほしいと思います。



次いで書道体験、書道部の生徒から手ほどきを受けながら思い思いに好きな言葉を書いたり、書道部の生徒がうちわに「イベントス」の訳語「青春」と書きプレゼントしたりという交流を行いました。

「かつたのと、今後もこうした機会が多くあればよいと思った。」などがありました。



第六十四回全高P連大会福井大会は、八月二十一日、サンドーム福井をメイン会場とし、全国各地から約九千五百名の会員を集め、サンドーム福井での模様を他の二会場へ映像配信するという全体会で開幕。福井県吟剣詩舞道総連盟による演舞のアトラクションの後、一般社団法人全国高等学校PTA連合会佐野元彦会長の式辞、北風俊哉大会実行委員長による開会の挨拶、文部科学大臣下村博文氏、福井県副知事、福井県議会議長等来賓の祝辞、表彰式と続いた。

表彰式では本県から、優良PTA文部科学大臣表彰を高志館高等学校教育振興会が受賞された。続いて行われた全国大会会長表彰の優秀単P表彰では、敬徳高校後援会と、盲学校PTAが、功労者表彰では、香楠中・鳥栖高校PTA前会長の古財政成氏と、唐津東高・中学校振興会前会長の平松宏氏が受賞された。また、役員等表彰では、県

全国高P連大会

福井大会（八月二十一日～二十三日）

二四二名が参加！

大会テーマ
教育と考福
未来に引き継ぐ知と恵み



連前事務局長の香月英二氏が受賞された。

その後、「今求められる考福脳」脳科学者からの提案」という演題で脳科学者の茂木健一郎氏による「基調講演」があった。専門性の高い内容であったが、学びと幸せの脳科学を私たちにユーモアを交えながらわかりやすく解説された。その後、午後からは各会場に分かれて分科会が行われた。

大会二日目の八月二十三日、サンドーム福井において、武生商業高校の吹奏楽部と福井商業高校のチアリーダー部「JETS」によるアトラクションの後、「福井の恐竜」アジア、そして「世界へ」という演題で福井県立恐竜博物館特別館長の東洋一氏による「記念講演」があった。最後に閉会式が行われ、来年度の開催である岩手県へ大会旗を引き継いだ。

この福井大会には、本県から百四十二名の参加があった。

本校紹介
塩田工業高校は昭和39年に開校し、昨年創立50周年を迎えました。この春の新校舎（教室棟、管理棟）完成を待ち、今年11月22日に1年遅れの創立50周年式



第2分科会

「本校における平成25年度PTA活動」

佐賀県立塩田工業高等学校PTA
前会長 高田孝二郎



九州地区高P連大会

きばれひつとべ 鹿児島大会
（六月十九・二十日）

典を行います。2、3年生は機械科・情報技術科・電気科・建築科の4クラス編成ですが、少子化の影響で本年度入学生は3クラス編成となり、情報技術科・電気科が1クラスとなりました。本校は、有明海を望む高台に位置し、周囲には鹿島の祐徳稲荷神社、嬉野温泉、武雄温泉があります。また、塩田地区は石工の里であり、塩田津の伝統建築群としても有名です。

『希望』『錬磨』『誠実』の校訓のもと保護者・職員・生徒、一丸となつてがんばっています。今回のテーマが『進路指導とPTA活動』ということなので、PTA活動の中でも進路指導に関係のあるもの、特に就職試験へ向けての模擬面接指導、3年生を励ます会を中心に発表させていただきます。

就職試験へ向けての模擬面接指導
数年前までは、学校長、進路指導部、各科主任を中心とした教職員だけの指導では生徒に慣れができて、臨場感に欠けるのではないかと。第三者を入れてより緊張感を持たせ、企業に近い立場から面接した方がよいのではないかと。という声がありました。

そこで、新たな面接指導の工夫として、企業に勤めておられる保護者を面接指導のメンバーに加え、従来の採点方式による面接評価表を使用し、模擬面接の様子をビデオ撮影し、生徒の面接指導に利用することにしました。

平成22年度より進路指導部の計画により教職員とPTAで面接指導に当たるようになり、採

点方式による評価表やビデオ撮影による指導の結果、4年連続就職・進学率100%を達成しています。以前の分のを含めると、8年連続になります。

卒業を目前に、それぞれの進路へ向かって旅立って行く3年生の前途を祝し、3年生の最終登校日にPTA主催で毎年実施しています。会場は学校近くの嬉野市中央公民館で、参加者は3年生全員、職員、市長他来賓です。会の内容は、PTA役員による「子育ての記」の朗読、クラス代表による進路体験意見発表、特別講師による講話、PTA役員による余興（踊り）、会食（弁当・お茶）です。

○「子育ての記」の朗読
卒業生の保護者全員に、普段は照れくさくて言えないことや、我が子の成長を振り返り、今だから伝えたい親の本音を書いてもらい、PTA役員が数名分を代読する形式で行っています。全員分を冊子にして卒業生全員に配付します。（保護者名は一切記載しない状態で生徒名もわからないようにしています。）

○進路体験意見発表
毎年11月に1、2年生全員に対し3年生の代表者に進路を決めるにあたっての体験を話してもらい、2年生の進路に対しての意識を高めてもらう機会を設けていますが、3年生を励ま

す会においても、クラス代表による体験発表を行うことにより、保護者や市の役員さんにも聞いてもらっています。本年度は11月の進路体験意見発表の場に1、2年生の保護者も呼ぼうという提案が進路指導部で計画されています。



最後に
いつの時代も、子どもは親の背中を見て育っていきます。今一度、私たち大人が自らの発言や行動を律し、未来に向けて生かすべき姿を、子どもと一緒に創造していきたいものです。そして、私たちPTAは、さらに活動内容の充実を努め、心新たに前進して参りたいと思います。

○特別講師による講話（浄林寺住職日野恵一氏）
卒業生に対して、それぞれの進路へ向けての激励の気持ちを込めての講話です。

3年生は真剣に話に聞き入っていました。この講話が地元の人にも講話を聞くことが出来ました。このことが縁で、4月の開校記念式典の行事でも全生徒の前に講話をしていただきました。



お知らせ

九高P連大会「長崎大会」
期日 平成二十七年六月十八日(木)・十九日(金)

会場 長崎県立総合体育館他

全高P連大会「岩手大会」
期日 平成二十七年八月十九日(水)・二十一日(金)

会場 岩手産業文化センター他



九州地区盲学校PTA連合会佐賀大会が七月二十四日(木)・二十五日(金)の二日間、佐賀市のグランドアークにおいて、九州各県から四十四名の会員の参加を得て開催された。

一日目は、開会行事、総会が行われた。総会の後半には全国盲学校PTA連合会報告、感謝状の贈呈があった。その後の講演会では、福岡県点字図書館館長の吉松政春氏に、「障害者の社会参加について」という演題で講演をしていただいた。

二日目には、会長部会と校長部会に分かれ、分科会が行われ、その後、全体会、閉会行事と続き、二日間の充実した研修を終えることができた。

平成二十六年年度九州地区盲学校PTA連合会総会並びに研究協議会佐賀大会